

あたらしいまちづくりをめざす。

# まちのスケッチブック

VOL-2

ちよまつ ひろやす  
千代松 大耕



前号でもお伝えしたとおり、現在の泉佐野市は財政が非常に危機的な状況で、赤字再建団体転落の危機にあります。6月議会で新田谷市長は施政に関する基本方針で「新世・開都いずみさの」をめざし「泉佐野市行財政改革推進計画」を策定することによって足腰の強い行財政基盤の構築に努めると公表されました。

関空税収があるにも関わらずなぜ泉佐野市がこのような状態になってしまったのか、それは後年度の税増収を期待し莫大な借り入れを行い、さまざま事業展開をしてきたからであります。そしてその見通しが誤りであったため現在赤字再建団体転落の危機にあるのです。

赤字再建団体に陥ってしまったら地方分権が進もうとしている中であって国の管轄下におかれてしまい地方自治が大幅に縮小されてしまいます。そして泉佐野市の外部からは「泉佐野市は関空からたくさんの税収があるのにいいもん建てすぎて倒産してしもた」という声があがるでしょう。そうなってしまえば今まで泉佐野の発展のため多大なる協力をしていただいた市民の皆様に対して顔向けが出来ません。財政再建が今、泉佐野市の優先順位の一つなのであります。

泉佐野市はこういった状況であります。外に目を向ければ時代は確実に動いています。政治、産業、国際情勢どれをとってみても時代の変化というものを感ぜずにはいられません。財政再建に固執するあまり、この流れに泉佐野が乗り遅れるわけにはいきません。

私自身、厳しい中であってなんとかこの時代の変化に対応できる「あたらしいまちづくり」を推進していきます。ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

## ① 六月定例議会

1) 平成12年度泉佐野市各会計予算を議決しました

三月定例議会では新市長の就任に伴い、必要最低限の経費のみを計上するにとどまりましたが、六月議会では本予算案を予算特別委員会で慎重審査し、議会にて可決しました。

詳細は下記の(表1)を参照ください。

(単位:千円・%)

【表1】

平成12年度 泉佐野市各会計予算額	会 計 名	12年度予算	11年度当初予算	比 率
	一 般 会 計	38,019,180-	40,436,521-	94.0
	国民健康保険事業特別会計	8,065,797-	7,697,039-	105.0
	老人保険事業特別会計	7,659,175-	8,439,044-	91.0
	下水事業特別会計	7,618,652-	6,085,795-	125.0
	公共用地先行取得事業特別会計	370,559-	298,777-	124.0
	公園墓地事業特別会計	44,100-	33,320-	132.0
	介護保険事業特別会計	3,110,513-		新 設
	宅地造成事業会計	184,903-	192,923-	96.0
	水道事業会計	4,463,125-	4,419,938-	101.0
	病院事業会計	14,347,820-	14,787,532-	97.0
	合 計	83,883,824-	82,390,889-	102.0

尚、映画祭は「いずみさのオフシアター映画祭」というかたちで9/9、9/10に開催されます。

9/9（土）若手映画監督製作の作品を上映（審査員は映画監督の平山秀幸さん、女優の中山忍さん他）

9/10（日）“ガメラ 大怪獣空中決戦”“愛を乞うひと”を上映

2) 新田谷市長「泉佐野市行財政改革推進計画」を発表

事業の見直しと縮小、人件費の抑制、厳密な点検作業を行うことによって自主再建を目指す、「泉佐野市行財政改革推進計画」を新田谷市長が発表しました。

3) 厚生文教委員会（6月15日、29日）

厚生文教委員会では下記の議案を審査しました。

- 泉佐野市非常勤消防団に係る退職報奨金の支給についての条例の一部を改正する条例制定について
- 泉佐野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
- 泉佐野市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例制定について

15日の委員会終了後、管内視察で日根野中学校、大木小学校の工事の進捗状況を視察しました。

4) 新助役を選任同意

空席であった二人目の助役に大屋利彦氏（前議会事務局長）の選任を同意しました。

② 五月臨時議会

五月臨時議会において議長に東定夫氏、副議長に重信正和氏を選出しました。

Q&A

7月1日から情報公開条例が施行されましたが、どんな制度ですか？

A

市民の「知る権利」を保障し、開かれた市政をめざす制度です。

情報公開を行う機関は市すべての執行機関のほか、議決機関である議会も含まれます。

市民、市民以外でも、これら機関に対して情報の公開を請求する権利を認めてあり、必要事項を記載した請求書を市役所の情報公開コーナーに提出すれば、公開対象情報を閲覧することが出来ます。

しかし原則として個人のプライバシーが侵害されたり、公共の利益が損なわれりするような情報に関しては、非公開となります。

新しいまちづくり(2)

今回は和泉市あゆみ野にある大阪府立産業技術総合研究所を個人視察してきました。

産業技術総合研究所は最新の設備を企業、大学に開放し、インキュベーションにおいては起業家育成、また技術に関する指導、情報提供、交流で、多くの企業へ技術支援を行っています。利用した企業、機関へのアンケートでは「100億円程のサービスを生み出している」との結果が出ています。「ある大企業の下請けの町工場を営んでいた夫婦がその企業からクレームを受け、産業技術総合研究所を原因解明のため利用し、まとめたレポートを企業の担当者に提出したところその担当者はクレームを引っ込めた上に新たな仕事をその企業からもらった。おかげで忙しくなった町工場に、街に出ていた息子が仕事を手伝うために帰ってきた。」という話を普及課の森村課長補佐から聞き微笑ましい気分になりました。



問い合わせ

大阪府立産業技術総合研究所  
和泉市あゆみ野2-7-1 TEL/0725-53-1121

ホームページを開設しました。アドレスは [http://www.hoops.livedoor.com/~chiyo\\_51/index.html](http://www.hoops.livedoor.com/~chiyo_51/index.html) です。  
市政に関するご意見（教育等）ございましたら、連絡ください。

千代松 大耕 プロフィール  
昭和48年10月3日泉佐野市松原生まれ 26歳  
現職 泉佐野市議会議員  
自由民主党泉佐野支部政務調査会長  
(社団法人)泉佐野青年会議所会員開発委員  
羽倉崎教育センター非常勤講師

発行  
千代松 大耕を育てる会  
安田 豊弘  
〒598-0045 泉佐野市松原2-5-31  
TEL 0724-58-1708  
0724-66-1546 (羽倉崎連絡所)

平成12年7月  
第2号発行